

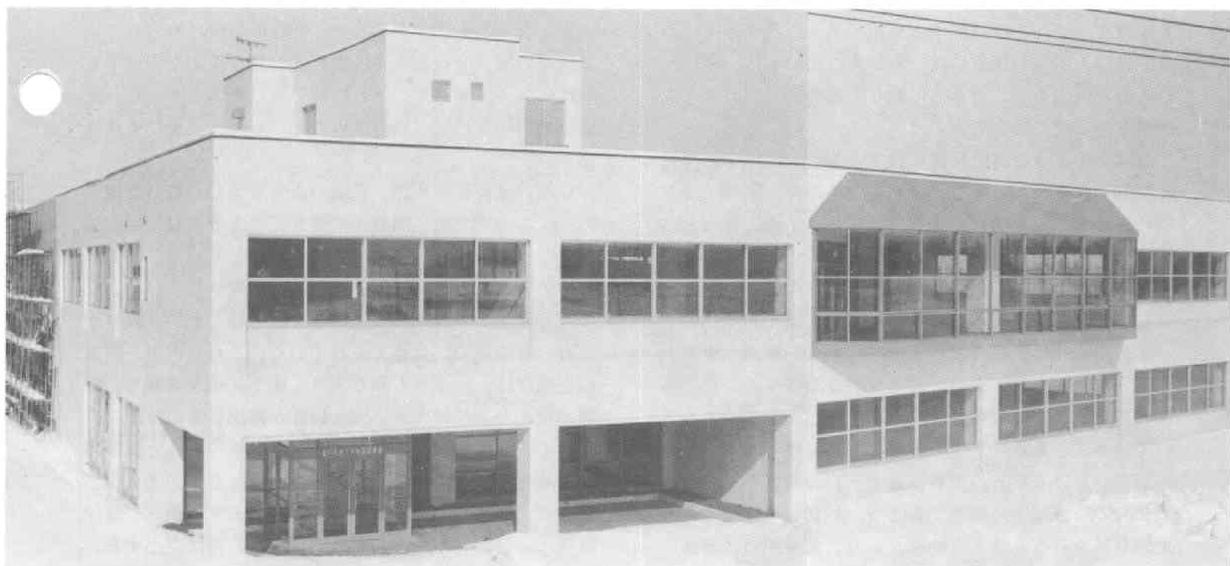
かぐらおが

(題字は山田守英学長)

第 15 号

昭和53年 3月 1日

編集 旭川医科大学
 厚生補導委員会
 発行 旭川医科大学教務部学生課



附属図書館

内 容

法医学と鬼達	石橋 宏	2	旭川医科大学談話会	8	
肝臓と私	水戸 迪郎	3	最近経験した下腿潰瘍の数例から..水元俊裕	8	
新任教員紹介		4	染色体異常生成要因-卵子初期卵割		
着任にあたって	平野日出征	4	胚における細胞遺伝学的研究 - 上口勇次郎	8	
My Ambition Concerning			慢性肝炎の病態	建部 高明	9
the Hokkaido Experience- D.Michael Flint		4	研究室紹介	佐藤 利宏	10
2人の新しい友人	丸子 基夫	4	キトウシ山でスキー遠足	11	
着任にあたって	金沢 徹	5	第1回歩くスキー講習会	11	
金沢教授のこと	黒島 晨汎	5	交通安全講習会	11	
着任にあたって	米増 祐吉	5	第4回全学スポーツ大会	11	
米増祐吉教授のプロフィール	竹光 義治	6	奨学制度について	11	
ご挨拶	北 進一	6	短 信	11	
北進一教授の御紹介	黒田 一秀	6	サークル紹介	12	
学内規程		7	窓 外	森 茂美	18



法医学と鬼達

石橋 宏

法医学の領域の中に死体解剖がある。長い間教室にいると色々な死体に出会う。時には腐敗ガスで膨満し巨人様となった死体もある。その腐敗臭には辟易するが、これを嫌がっているのは法医学者失格である。我々のそばからではなく医学の世界には一般に言う汚いもの、避けたいものが沢山ある。これらに対して積極的に闘うことも医学を学ぶ者の宿命であろう。

私はこのような腐敗死体に接する場合、法医学的所見を把握しようと努めることは勿論であるが、同時にまた別の視点で死体を眺めるようにしている。別の視点とは腐敗死体が神話や宗教に与えた影響について想いをめぐらすことである。このように別の視点にたてば、どのような腐敗臭も気にならなくなるから不思議である。

太古から死は人類にとって避けられない厳粛な事実としてうけとめられてきた。日本ばかりではなく、世界各国の神話が必ず死者の世界について相当のスペースをさいていることも死に対する関心の深さを物語っている。

日本における死者の世界で最も人口に膾炙しているのが仏教の地獄極楽の観念であろう。12世紀末に画かれた地獄草紙をみると様々な地獄があり、糞尿泥（屎糞所）地獄には、糞尿の池の中でもがく男女の罪人が針口虫という巨大な蛆のような虫に咬まれているさまが画かれている。また、膿血地獄には、膿汁の池に入れられた罪人が膿汁を飲みまいとして顔を上げれば最猛勝という蜂に似た巨大な虫に刺されるさまが画かれている。これらは死体に蟻集する蠅、蛆、或いは動物による死体損壊を表現したものと考えられる。この草紙が画かれた頃の社会は、戦乱、大火、地震、疫病、飢饉等が続き、一般大衆には誠に悲惨な時代であった。路上や河原には死人があふれていたであろう。これらの放置された死体現象を目の当りにした経験から作者の地獄草紙に対するイメージが形成されたものであろう。地獄といえば直ぐ鬼が心に浮ぶように鬼は日本人にとって昔から馴染み深いものである。

「鬼を欺く」「心を鬼にする」「仕事の鬼」「鬼も18番茶も出花」などの諺にも使われ、桃太郎、一寸法師などのお伽噺にも登場し、節分の鬼、はては雷にまで鬼の姿をさせてしまう程である。このように日本に定着した鬼は、恐いもの、強いもの、無慈悲、残忍、醜いものとして我々の生活の中に入りこんでいる。鬼という漢字は元来中国のもので「鬼神に列す」という言葉にもあるように死者を指したものとされている。一方、日本の古代信仰に

はカミ、オニ、タマ、モノ（物の怪）などがあり、オニは隠（オス）の転訛したものとも言われているが、この土着のオニと中国伝来の鬼がどのように結びついてオニ＝鬼となったものであろうか。寺院の屋根に飾られている鬼瓦の歴史をたどると、鬼の面に角が生えたのは平安時代に入ってからで、それ以前の鬼に角はなかった。地獄草紙の函量地獄、鉄籠地獄などに登場する鬼にも角はない。

仏教の世界には釈迦、菩薩のような美しく整った像があり、一方では鬼、閻魔、仁王などのように脇役的な像が恐しい形相にデフォルメされて共存している。閻魔は地獄の審判官として峻烈、威嚇的に表現されている。仁王は金剛力士の像であり、煩惱を打ち砕くという願いがこめられ寺院の門に建てられている。これらの鬼、閻魔、仁王などは、いずれも顔が大きく赤く、頬が隆起し、眼球が突出し、口は大きく開き歯牙が露出している。

一方、人体においては死後変化が高度になると腐敗ガスの産生によって全身が膨満し巨人様となる。老人の皺は伸び、瘦せた人も膨満する。眼裂は大きく開き、眼球は突出し、口唇も膨大して外方に翻転し舌は突出する。口も大きく開き、歯肉は脱落し、そのため歯牙は生前より大きく長く見える。また、血液は溶血し色素が皮膚に浸潤して赤くなる。腐敗の結果発生した硫化水素が色素に結合して硫化ヘモクロピンになると皮膚は緑色となる。この他に細菌の作用によって産生された赤色、紫色、黄色などの色素が皮膚に染着することもあり、時には黴によって真白になることもある。これに加えて死体が屍蝕化、ミイラ化する場合もある。特に仏教の発祥地である印度の気候はこのような死後変化を多彩なものにし得たであろう。

このような死体現象を太古の人類は身近に眺め、その奇怪な死後変化に恐れおののき、そして死者に対する畏怖から宗教が生まれ、生界から死者の世界へ自分達の仲間を鬼、閻魔、仁王として送り出したものであろう。

私は腐敗死体に接する度に、このような死体現象が仏教の世界に包括されている赤鬼、青鬼、または閻魔、仁王などの原形であろうと考えるのである。このような視点にたつと、私には腐敗死体も仏像に見えてくる。

(法医学講座 教授)



肝臓と私

水戸迪郎

ついに原稿締切り日になってしまった。原稿用紙の升目に対面すると、他の論文の締切り日が眼前にちらつき手がすくんでしまう。ままと、この用紙にペンを移した途端、今まで書いていた論文の字句が、そのまま題名に載っていた。その単語は「肝臓」と出た。やれやれ、またまた肝臓かと表題を書いた用紙をなげ捨てる。しかし捨てた単語が気になる。ふった様なそぶりをしても、事實はふられた女をくよくよ思っておこすに似ている。もう見あきた「肝臓」なる単語に愛着と、ときには憎悪を憶えたものであるが、私の半身の様な気がして肩籠から再び机に戻すしたがって、随想の題名は「肝臓と私」になってしまった。

今から20数年前、新宿西口、当時は赤提燈の居酒屋が軒を重ね合っていた。その一角で、インターン時代の終りがちかづいていた私達はこれからの自分達の進路などについて、一人前の医師が聞けば歯が浮く様な口調で、時折ドイツ語とtechnical termを混ぜ合せながら話し合っていた。友人の一人に「お前は北海道に帰って何をやるんだ」と聞かれ、私は口にはおぼった車の種がレバーであったのかあるいは、日頃、北海道の熊あつかいをされていた腹いせか、ささやかな顯示慾の表現か定かではないか、俺はLeberをやるんだ、とがなった。口ばした本人が驚く様な声にみんなは一瞬しらけた。この場のしらけ、驚きは厚生省のインターン研修のメッカ東京第一病院での一年、肝疾患は内科病棟で数多くみても、手術室では、鉤の引き方が悪く、肝を少しでも損傷するなら、あらゆる罵詈雑言をあびせられた苦い思い出しかない輩には当然のことであった。「肝臓の外科をやるんだって?」「肝臓からの出血はどうするんだ?」仲間急には立場をかえ、口頭質問官に早がわりした「己れがいくらかでも知識が豊かである場合はひとの目は時として優越感の表現として、軽蔑を浮かべるものだ。文献なるものに目とおしたことの無い私は答えるすべがなかった。赤くなった顔を羞恥で増々色こくして苦しまぎれに口から飛び出した言葉は「まるごとの移植よ。答えるや否や、」ばかな、誰が肝臓をくれるんだ。ここで勝負はあった。私の口中ではグリコーゲンで甘い香りを含んだ豚の肝臓が嘔みしめられ、胆汁のほろにがさが広がっていった。出会いというものは偶然性と蓋然性のそれぞれの相を持つものであるが、私と肝との出会いは前者であろう。

東京遊学一年で札幌に戻った。私の父が獣医で、子供の頃から外科治療の手伝いをさせられ一瞬一瞬の緊張感にひかれていたので躊躇なく外科に入局した。入局してみても主任教授三上先生が肺、肝臓外科の開拓者であることを知った。しかし、入局当時は丁度、教授が外科学会で肝広汎切除の宿題報告を終えたあとであったので、ティーテルを終えた研究者は次々と地方病院に就職し、ひと仕事終えた虚脱感が犬小屋を吹きぬけ、血のこびりついた実験手術台の上の裸電球をゆらしていた。最先端の研究の場にそぐわない環境の様に思われたが、この幽霊屋敷には真夜中となると、いづこからともなく数人が集まり、犬を引き出し実験が行われていた。ここで、葛西助手(現北大教授)から肝内脈管構築を熟っぽく説明され、当時流行の肺切除と全く同様に肝にメスが加えられることを教わった。これを契機に口先きでなく手と肌で肝を味うことになる。厚顔無知にも人工肝臓を作ろうとしたり、無血下肝切除法とか、肝門部脈管再建法とかさまざまな勉強をさせられたが、それらの成果は御本人の期待どおりにはいかないのが世の常。見返りは自分自身が肝炎に罹り、肝性昏睡の恐怖におののくことになる。退院後、後療法をかね米国に遊学してこいということになった。留学2年目、ボスが何でも好きにやれというので、インターン時代に口ばした肝移植に取り組み、部分移植に成功した。しかし依然として、友人が問うた「誰が肝臓をくれるか?」の解答は得られずに終った。

昭和50年の春、旭川に移り住むことになる。ここで選んだ研究課題の一つが、遊離肝細胞の生体内移植であった。三つ子の魂百までとは良く云ってくれたものである。あるいは愚鈍者の執念深い恋心かも知れない。「頭のいい人には恋ができない。恋は盲目である。科学者になるには自然を恋人としなければならない。自然はやはりその恋人にのみ真心を打ち明けるものである。寺田寅彦の文章だ。未だロマンを追ってもよいのではないか。移植後8か月、脾臓に第2の肝臓ができつつあるプレバートを手にし、また、精子と同様冷凍保存した肝細胞が増殖する姿に接し、やっとな友人に対する答が得られるようになってきた昨今である。学年末の試験なら、とうの昔に退学の運命であったが、生涯の研究には期限がないのが幸いであったと云えよう。

(外科学第二講座 教授)

新任教員紹介

昨年下半年に講座学科目代表者、診療科長及び外国人教師計5名が本学に赴任しました。各教官は既に授業を受け持ち、又講座、診療科充実のため邁進しています。

本誌では新任教官から御挨拶をいただくとともに、親しい教官から本人を紹介願うこととしました。新任教官の教育研究方針を理解する一助としてください。(学生課)

着任にあたって

■英語■

平野日出征



私は、言語学の一学徒たろうと、おそらくは辿り着くことのないであろう道を歩み始めてしまった。たとえいかに弱い足でも、歩みを止めるわけにはゆかない。言語学は言語それ自体を対象とする学問であるとソシュールは言う。言語は、人間精神の自由な創造という操作 (Process) である、つまりergonではなくenergeiaであるとフンボルトは言う。言語の使用と習得は、人間精神の能力の一つである生成能力に依存するとチョムスキーは言う。人間精神は、自らの存在と衝突するとき、言語へ逃避するとイエルクスレウは言う。私は、言語の合理性と非合理性のうちに人間をみる。有意味でない言語音の差異をすべて聞き落す弁別能力に感謝し、努力を最小にしようと無意味な音を生成するものを嫌悪する。

この地に来て、4ヵ月、自分の在る所がまだ判然としない。のみならず、窓外に見えるのがなぜ飯豊でなく大雪連峰なのかとを感じる。4階に居るためなのか、そういえば、仙台の8階の研究室でも同じであったようだ。ともかく、自らを投げ込んだ環境をtriggerとして、新しい視点を獲得するために、領域を拡大しつつある言語学のさほど遠くない地へさ迷い出たい衝動を感じてはいる。

この地に来て、4ヵ月、自分の在る所がまだ判然としない。のみならず、窓外に見えるのがなぜ飯豊でなく大雪連峰なのかとを感じる。4階に居るためなのか、そういえば、仙台の8階の研究室でも同じであったようだ。ともかく、自らを投げ込んだ環境をtriggerとして、新しい視点を獲得するために、領域を拡大しつつある言語学のさほど遠くない地へさ迷い出たい衝動を感じてはいる。

(英語 助教授)

My Ambition Concerning the Hokkaido Experience

■英語■

D. Michael Flint



"Old men should be explorers," or so says the American poet Thomas Stearnes Eliot. When I first read this at the age of fourteen I could hardly

ly understand its meaning. I envisioned an aging, white-haired man trekking out across some wilderness in search of the locus amoenus, the happy or pleasant place. Since that time, however, I have realized that there is an implication beyond this literal meaning: Eliot meant that one should never stop learning.

Although my official position at the Medical College is that of Foreign Instructor of English, in a manner of speaking, I consider myself to be a perennial student. While in Japan I wish to learn as much as possible about the Japanese culture and to reach toward a greater understanding of the overwhelming questions "What is man?" and "What does it mean to be human?" I hope to apply the new insights I gain to my avocation of writing.

Recently I have become very interested in the relatively new and exciting field of psycholinguistics. Psycholinguistics is the study of the cognitive processes involved in language generation. Indeed I am very curious about the relationship between thought and language. I hope that while at the Medical College I can find time to explore this discipline further.

Concerning my pedagogical theory of language, I believe as the behaviorists that language does not occur until it is put into action, that is, until it is spoken or written. No matter how well one can read a language, he has not proven his ability until he has written or spoken it. Japanese students are notorious for having a great ability to read English but a seemingly inherent inability to speak it. The greatest hope I have concerning my Hokkaido experience is somehow to instill within my students the desire to use English verbally. This, of course, requires a greater commitment to turning language into action. Above all, if the Medical College is serious about its wish to have its students become fluent speakers of the English language, I suggest that the faculty set an example by continual encouragement and even by actively using English themselves. They should never forget Eliot's words. (外国人教師)

2人の新しい友人

丸子基夫

新任の教官を関係のある古株の者が紹介するという企

画は一見面白そうだが、その結果はおそらく、前者の印象を弱めその意見表明の頁を狭くするだけであろう。ましてやここは選考委員会（秘密会）ではないから、当たり障りのない発言になるほかはない。

平野氏・プリント氏とも英語科である。医大の教員学生のほとんどは英語に関心をもっていているから、お2人の専門領域と力量、人柄と経歴はかなり全学的な関心事であろうが、私は後の部分だけに言及させてもらう。ヒデユキ氏は工業短大出の技術者だったが、日立を退職して苦学〇年、東北大にて英語学・言語学を真に研修して言語学科助手から短大講師をへて昨年10月に着任。英・羅・朝鮮の言語を駆使する現代の言語科学者であると同時に、世間でいう「英語の良くできる人」でもあることは、マイクル氏が頻りに彼の室を訪れて1時間も談論が続くのが聞えることから確実である。氏の対人態度はまた淡泊にして発言は直截（御本人は「おっちょこちょい、ど言う）、柔道と卓球が大好きとのこと。「この学生は教室では誠に諦めが早いぞすなあ」と苦い顔で言ってます。

南イリノイ大とSt. Louis大で英米文学を専攻され博士課程に在学中のマイクル・F氏は28才の独身の詩人型、母校でも1学年の作文指導を担当しながらスペイン・イタリア・ラテン諸語を猛勉強したとのことだが、第一の関心は創作にあると断言、ビールで軽く酔うと私に向けてカフカの深淵な体験や「ファウスト」的衝動について話しかけてきて、私の錆びた英語に磨きをかけてくれようとする。この善意に満ちた知識欲の烈しいアメリカ青年は、御馳走よりも対話を、パーに招待されるよりも重量挙げで競う方を待ち望んでいるらしい。日本語の修得もすぐ進んでいる。私もうかうかしておられない。

（ドイツ語 教授）

着任にあたって

■生化学第二講座■

金 沢 徹

昨年の暮北大から旭川医大に移ってはや2カ月が過ぎた。旭川の冬はずいぶんきびしいときいてきたが、住んでみるとさほどでもない。寒さのきびしい日はむしろ清冽な感じがして気持ちがよい。

どうやら旭川は私の性に

合っているらしい。研究室はまだ工事中で、完成までなおひと月はかかると云う。現在、基礎臨床棟のカンファレンスルームを借りて一人住い、工事の進み具合をみに行くのが唯一の気晴らしである。

教室のスタッフの人選はほぼ終わったが、全員出揃うのはこの秋頃になりそうである。スタッフの構成は生化学教室としてはかなり毛色が変わっているように思う。私自身もともと医学部の生理学畑の出身で、阪大理学部の生



物学教室で10年余り分子生理学の仕事をした。助教授に内定した重川宗一氏も阪大医学部の内科出身ではあるが、私と同じ生物学教室で理学博士の学位をとった変わり種である。

これからの教室の主要な研究テーマとしては、生体膜の生理機能に関する生化学的研究を考えている。とくに、イオンの能動輸送の分子機構がここしばらく教室のおもな研究課題となろう。将来は生体膜機能を中心として、臨床研究とのつながりも深めて行きたいと思う。

（生化学第二講座 教授）

金沢教授のこと

黒 島 晨 汎

金沢教授とは私が北大の生理学教室の同じ実験室にデスクを貰った日から、15年来の知り合いであり、大学院の先輩である。北大医学部を卒業後、迷うことなく最初から基礎研究者の道を選ばれたということで、当時まだ臨床医を目指していた私にとって、金沢先生は単に先輩である以上に、大きな影響力をもっていた。当時はカテコールアミンの分泌調節に関する生理学的実験をしておられたが、その後阪大の理学部に移られて細胞膜の生化学、とくに膜のイオン輸送に関する研究で目覚ましい成果を挙げられ、生化学会の賞を獲得され日本では勿論のこと国際的にも高く評価されているトップレベルの生化学者として活躍しておられる。3年前に古巣の北大の生理学教室に戻られたが、今回本学の生化学教授として赴任されたわけで、生化学第二講座は初代のチーフとして申し分のない立派な人物を得たことになる。金沢教授の重厚、温厚なお人柄は、その明晰な頭脳と相俟って先生と知り合った人の心を忽ち引き付けてしまう。私もそうされた一人で、金沢教授は私の敬愛して止まない方である。従って個人的にも、またご一緒できるようになったことはこの上ない喜びであり、さらに益々のご発展を期待して胸の躍るおもいがするのである。（生理学第一講座 教授）

着任にあたって

■脳神経外科学講座■

米 増 祐 吉

脳神経外科学講座は臨床講座の殿として昨年四月に開設され、12月16日に私が専任として発令されました。

実際の開設はさらに遅れて、学内外、殊に学生の皆様には多大のご迷惑をおかけしましたが、この3日より始動することになりました。

脳神経外科については一般には頭部外傷を扱う科とか、何かと派手な科のように誤解されている向きもあるよう



に思います。一言で言えば神経系疾患の外科治療を行う科ですが、絶えず人間としての生と死の境をみつめ、治療の限界をみつめ悩んでいるので“脳、外科と自嘲的に呼ぶ人もいる程です。私自身その意味では最も脳神経外科医的と自認しておりますが、一方では我が国の医療全般にはこの悩みが欠ける傾向があるかと心配もしております。

教育、診療、研究の三本柱が大切と言うは易しですがそのバランスのとりの方は大学の医師の悩みの種でもあります。私は納得のいく診療を追求することが、教育、研究に連なると考えております。とくに教育の面では知識の量よりも、専門科としての限度を考えて、むしろ考える医師を作ることに努力をすることが、専門講座の使命の一つであると思っております。

脳神経外科学は基礎臨床に亘る広い分野の支えなしでは成り立たない科ですので、学内外のご指導とご援助により、ご要望に応えられる講座、診療科に育てたいものと念願しております。(脳神経外科学講座 教授)

米増祐吉教授のプロフィール

竹 光 義 治

昭和27年生、幼少年時代を山陰の鳥取で過したので雪は少しも冷くないと言う。殊に厚い屋根の雪が軒先からツララと共に垂れ下っている風景などを見ると大変懐しいとのこと。始めから北国の仲間であった。スキーも少しやったことはあるそうだし、米国留学中は-30℃以下の生活も経験したことがあるとか、ひよっとしたら道産子以上に冬に強いかも知れない。

筆者と同じ九州大学医学部卒、立川の米軍病院でインターン後母校の脳神経外科入局、わが国でも大御所の一人北村勝俊教授の門を叩く。以来、日夜徹底的に鍛えられる。学位論文は「脳腫瘍の燐化合物、特に核酸について……」即ち化学に強い。

昭和42年からウィスコンシン大学脳外科Javid 教授の下に留学、2年間レジデントとして勤務す。帰国後講師として活躍、殊に腫瘍に関する研究は奥が深く、この方面では高く評価されつつある。

教育熱心で着任前2か月間イリノイ大学のセンターに医学教育の新しいシステムを学んで来られた。

温厚で粘り強く巾の広い人柄、スポーツマンでテニスが得意。熟慮型で決して慌てないところが長所でもあり欠点でもある。

地元からもスタッフが集まるとのこと、きっと素晴らしい旭川医大脳神経外科が創設されるであろう。乞うご健斗。(整形外科学講座 教授)



二 接 拶

■ 歯科口腔外科 ■

北 進 一



私、昨年の11月に本学病院の歯科口腔外科に着任いたしました。どうぞよろしくお願い致します。今日までの私の生活は常に医学部の口腔外科に身を置いておりました。その立場から最近の医療面をみると、医学生といえ

ども口腔領域の知識(顎顔面部の外傷・奇型・腫瘍・炎症)が必要であることを痛感いたしております。例えば年毎に増加している交通・産業外傷の処置に際して、咬合関係を無視したことに起因する咀嚼困難、発音障害を招来した症例が今なお数多く遭遇すること等であります。最近では全国の殆どどの医科大学に口腔外科が講座あるいは診療科として置かれるようになり、前述の知識や診療手技を身につけた医師の育ってゆくことを誠に喜ばしいことと思っております。本院の歯科口腔外科は開院と同時に発足しておりますが、私の着任までの間は山中院長(現、北大歯学部講師)と病院長の黒田教授がその基礎作りを行って下さいました。学生諸君には折角設けられた歯科口腔外科をムシ歯の治療だけに利用するに止めず、口腔外科的疾患の内容にも関心を持っていただくことを期待いたしまして、着任のご挨拶といたします。

(歯科口腔外科 教授)

北進一教授の御紹介

黒 田 一 秀

北教授は室蘭の御出身。昭和38年東京歯科大学を卒業後一時母校の薬理学教室で勉強され、39年札幌医科大学口腔治療学助手となり、引き続き口腔外科学の助手、講師を経て、50年弘前大学医学部附属病院助教授となり、口腔外科を担当されてこられた新進気鋭の方であります。札幌医大では生理学第一講座助手も兼ね、筋生理学の研究を続けておられました。旭川医大病院歯科口腔外科は開院当初、病院長が名目上科長で、実際には山中丈夫院長のほか助手・技士・看護婦諸氏の御努力と北大歯学部とくに同口腔外科教室の御協力とによって診療を行っていました。今回ほんとうの主宰者として北教授を迎え喜びにたえません。この診療科は学内需要度が高い特徴がありますが、一方大学病院として学外社会からの期待も多大なであります。また診療の近代化に伴い、仕事も多岐に分化しますが、本院では1科で総合せねばならぬ問題もありましょう。教授は北の国でまっ先に進むと読めるお名前を持ち主です。持ちまへの明るさと積極性とで、どんどん仕事を始められました。教室員諸氏とともに旭川生活を楽しみながら、診療・教育・研究の発展を遂げられ、われわれを大いに啓発して下さいと存じます。(副学長・病院長)

学 内 規 程

旭川医科大学屋外運動場体育管理施設合宿研修所 使用規程（昭和53年1月25日旭医大達第3号）

この規程は、本学屋外運動場体育管理施設に設置された合宿研修所の適正な運営を図るため、その使用について必要な事項を定めたものである。昭和53年4月1日施行。

旭川医科大学研究生規程の一部を改正する規程（昭和53年2月8日旭医大達第6号）

この規程は、研究生の受け入れについて後期の途中においても、特別の理由がある場合に限り入学を許可することができるよう所要の改正を行ったものである。昭和53年2月8日施行。（庶務課）

旭川医科大学屋外運動場体育管理施設合宿研修所 使用規程（昭和53年1月25日旭医大達第3号）

（趣 旨）

第1条 この規程は、旭川医科大学屋外運動場体育管理施設の合宿研修所（以下「研修所」という。）の使用について、必要な事項を定める。

（用 途）

第2条 研修所は、次の各号に掲げる用途に使用する。

- 1 学生の課外教育活動のための合宿研修
- 2 職員の合宿研修
- 3 その他学長が適当と認めるもの

（使用できる期間）

第3条 研修所を使用できる期間は、1月4日から12月27日までとする。

2 研修所の1回の使用期間は、5日以内とする。ただし、学長が必要と認めた場合は、この限りでない。

（使用手続）

第4条 研修所を使用しようとする者は、原則として、使用しようとする日の3日前までに、別に定める使用願を教務部学生課に提出し、学長の許可を受けなければならない。

（遵守事項）

第5条 研修所を使用する者（以下「使用者」という。）は、次の各号に掲げる事項を遵守しなければならない。

- 1 火災予防に留意すること。
- 2 喫煙は、所定の場所で行うこと。
- 3 設備・備品等を破損又は滅失しないこと。
- 4 風紀を守ること。
- 5 騒音・喧噪等により、他の者に迷惑をかけること。
- 6 許可された目的以外の使用及び転貸はしないこと。
- 7 使用許可期間を守ること。
- 8 使用中止のときは、速やかに届け出ること。
- 9 一時退出するときは、ガス栓・火器の点検、消燈・施錠の確認を行うこと。

10 使用後は、清掃のうえ原状に復し、係員の点検を受けること。

11 その他別に定める注意事項を守り、かつ、係員の指示に従うこと。

（鍵の受け取り及び返還）

第6条 研修所を使用するときは、次の区分に従い係員から鍵を受け取り、使用後は直ちに鍵を返却しなければならない。

日 時 区 分	係員区分
月曜日～金曜日 午前8時30分～ 午後5時	教務部学生課員
土曜日 午前8時30分～午後0時30分 (国民の祝日及び国民の祝日が日曜日にあたるときは、その翌日を除く。)	
右記以外の日時	警備員

（許可の取消し）

第7条 使用者が第5条及び前条の規定に違反した場合は、使用許可を取り消し、又は以後の使用を許可しないことがある。

（損害賠償）

第8条 使用者が、設備・備品等を破損又は滅失した場合は、その損害を賠償しなければならない。ただし、事情によっては、その額を減免することがある。

（雑 則）

第9条 この規程に定めるもののほか、研修所の使用に関し必要な事項は、教務部長が別に定める。

附 則

- 1 この規程は、昭和53年4月1日から施行する。
- 2 研修所を使用できる期間は、第3条第1項の規定にかかわらず、当分の間、4月17日から10月16日までとする。

旭川医科大学研究生規程の一部を改正する規程

（昭和53年2月8日 旭医大達第6号）

旭川医科大学研究生規程（昭和50年旭医大達第19号）の一部を次のように改正する。

第七条を次のように改める。

（研究期間）

第7条 研究期間は、6月以上1年以内とする。ただし研究継続願（別記様式第4）を学長に提出することにより引き続き在学を願ひ出たときは、研究期間の延長を許可することがある。

2 前項の研究期間の終期は、学期の終わりとする。

附 則

この規程は、昭和53年2月8日から施行する。



旭川医科大学談話会

第34回、第35回の旭川医科大学談話会は、それぞれ昨年11月16日（水）、本年2月15日（水）に次のとおり行われました。

なお第35回談話会をもって、昭和52年度の実施予定は全て終了しました。学生、職員の熱心な聴講に感謝するとともに、今後とも御協力をお願いします。

（学生課）

■第34回談話会 昭和52年11月16日開催■

最近経験した 下腿潰瘍の数例から 水元俊裕

膝関節から足関節までの間における皮膚の欠損を総括して、一般に下腿潰瘍という。下腿潰瘍は日常の皮膚科診療において、それほど稀な疾患ではないが、しかし、その原因は症例によりさまざまである。すなわち、本症をこの原因論の立場からみると、単純な外傷によるものにはじまり、より複雑な背景を有する血管性、神経性、代謝障害、結合織疾患および血液異常によるものなどに分けられる。このなかでもとくに重要なのは、血管性のものであろう。すなわち、この血管性下腿潰瘍は本症の95%を占めるといわれ、なかでもこの90%は静脈性で、残り5%が動脈性のものであるという。このように、静脈性下腿潰瘍が本症の大部分を占めるわけであるが、さらに重要なのは、この60%以上は、Post-thrombophlebitic syndrome に属すものであるということである。故に、日常診療において下腿潰瘍を診た場合、われわれはまず次の点に留意しなければならない。すなわち、病巣の部位とその性状を正確に把握し、その背景に原因となるような基礎疾患がないかどうかを確かめることである。この基礎疾患の存在が否定されたときはじめて血管性下腿潰瘍を疑う。一般に血管性下腿潰瘍は、次にのべるような特徴を有する。すなわち、静脈性のもは、部位的に下腿の内頰上方に多くみられるのに対して、動脈性のもは、むしろ趾尖および踵部に好んでみられる。また、その形状は前者では不整形で、辺縁が鈍であるのに対して、後者は円形ないしは類円形で、その辺縁も鋭利に周囲皮膚と境される。このほか、静脈性のもは、概して潰瘍底が汚穢な肉芽組織で覆われ、周囲皮膚も紫藍色を呈し、浮腫性で一部は硬化におちいり、種々な程度のヘモジデリンによる色素沈着および静脈怒張を伴うことが多い。これに対して動脈性のもは、潰瘍底は固着性の灰黄色膜状物に覆われ、周囲皮膚も貧血性蒼白で、さらに乾燥性萎縮におちいつていることが多い。潰瘍周囲の皮膚温は、静脈性のもものでは、むしろ健常部より上昇

しているのに対して、動脈性のもものでは逆に下降を来すことが多い。さらに、静脈性のもものでは通常自発痛はないか、またはあってもごく軽度で、下肢全体を挙上させることにより緩和されるのに対して、動脈性のもでは、疼痛は一般に強く、またしばしば間歇性跛行を伴う。さらに、下肢を挙上することにより、疼痛が増強することも大きな特徴といえよう。静脈性下腿潰瘍の大半は慢性血栓性静脈炎に続発するものであるが、これの原因として、ある場合は慢性的な静脈不全によるうっ血性皮膚炎があり、さらに重要なのは、ベーチェット病に随伴するものであろう。また、下腿潰瘍の分類上は、感染症の項に属すべきものであるが、その発症機構は、基本的に、この血栓性静脈炎である結核疹のバザン氏硬結性紅斑がある。このものの臨床的帰趨については、皮膚科医の間でもまだ論議を呼んでいるところではあるが、本症と診断された症例のなかには、あきらかに抗結核薬に反応するもののあることから、その存在性を完全に否定するのは、まだ時期尚早であろう。以上のべてきた静脈性下腿潰瘍の合併症として、病巣部皮下に石灰沈着を来すことがある。これもまた本症の治療機転を遷延させる一因となっている。最後に、これまでのべた血管性下腿潰瘍というのは、主として中等度以上の動脈および静脈を対象としているのに対して、小動脈の変化によるものがある。このなかで重要なのは、血管炎である。これは大半免疫学的機序により発現するもので、皮膚の小動脈壁における抗原・抗体複合物の沈着により、血管壁の破壊がおこり、臨床的には紫斑（主として点状出血）を主症状とする。好発部位は、下腿の胫骨前面から足関節附近で、このほかの症状として、小水疱、壊死、皮下小結節および潰瘍など多彩な像をとる。しかしながら、本症における潰瘍は、非常に浅く、大きさもせいぜい豌豆大位までである。組織学的には、この小動脈の変化に加えて、二次的に小静脈、毛細血管も侵されていることが多い。下腿潰瘍の治療は、基本的には原因論別になされねばならない。このなかでも最も治療抵抗性である静脈性下腿潰瘍については、最近高圧酸素療法および亜鉛の補給が、治療機転の促進に有効とされ、注目されてきている。

（皮膚科学講座 助教授）

■第35回談話会 昭和53年2月15日開催■

染色体異常生成要因—卵子初期 卵割胚における細胞遺伝学的研究—

上口勇次郎

生物学教室では発生異常・染色体異常の原因の解明をめざして全員の共同研究を進めているが、ここでは、ヒトの染色体異常との関連が最近特に重要視されてきている“卵子のエイジング”の問題を中心に、教室の研究の

一部を紹介したい。

最近、ヒトでダウン症など染色体異常の症例が数多くみつかっており、全新生児の0.5~1.0%が染色体異常児であることが明らかになった。しかし、実際にはより多くの染色体異常が生じており、胎芽期では全胎児の約7%、初期受精卵では約半数にも及ぶとさえ推定されている。ヒトのこのような高頻度の染色体異常出現は他の動物にはない極めて特異的なものである。その原因として最も可能性の高いものに卵子のエイジングがあげられる。以下に各種エイジングと染色体異常の関連について我々の研究を中心に解説する。

(1)母体の加齢に伴う卵子の退行変性 ヒトの卵細胞は胎児期後期にはすでに増殖分裂を終え、第一成熟分裂前期の網糸期に留まっている。したがって母体の高齢化に伴い、卵そのものも卵巢内で老化する。ダウン症等が高齢女性の児に高頻度に生ずることを考えると、この種の卵子の老化が染色体異常と関連をもつ可能性は高い。異常の原因を知るためには、異常の生ずるまさにその時期、すなわち配偶子形成期、受精期、初期卵割期での研究が必要である。そこで我々は卵の染色体標本作製法を特に開発し、チャイニーズハムスターの老齢雌の未受精卵及び2細胞胚で染色体分析を行った。その結果、いずれの時期でも染色体異常卵の出現頻度は老齢雌で有意に高く、母体の加齢が成熟分裂及び第一卵割に影響して染色体不分離を誘起することが認められた。

染色体異常生成機序に関し、老齢個体の卵子では第一成熟分裂中期に相同染色体が互いに離れた一価染色体が増加し、これが分裂後期に卵と第一極体に不均等に配分される結果、染色体の数的異常が生ずるという、重要な仮説がある。しかし、各々の染色体を明瞭に区別できるチャイニーズハムスターを用いた我々の研究結果では、一価染色体形成を起す染色体と不分離を起す染色体の間には相関関係は認められず、異常の生成機序は上記の仮説とは別のものである可能性が指摘できた。

(2)遅延排卵による卵子の濾胞内過熟 成熟した卵母細胞が排卵の遅延により許容範囲を越えて長期間濾胞内に留められると次第に退行変性を起す。この現象は発見者、美甘により卵子の濾胞内過熟と命名され、発生異常・染色体異常の生成原因とみなされているが、なお詳細な検討を要する点が多々ある。ラットで黄体形成ホルモン分泌を抑制して排卵を48時間遅延させると、種々の染色体異常が有意に増加することが我々の研究で明らかになった。染色体異常生成期直後の2細胞期で卵を分析した結果、多精子受精による多倍体の顕著な増加、また、成熟分裂期や第一卵割期の染色体不分離や分裂後期染色体移動遅延による染色体の核外喪失等による染色体異常胚の有意な増加が確認された。

他に、遅延受精による卵子の卵管内過熟、すなわち排卵された卵子が受精されずに長時間放置されたために起

こる退行変性も染色体異常の原因になることが知られている。これら卵子のエイジングはヒトの生殖の特性上、非常に起こりやすいもので、ヒトの染色体異常多発の原因として極めて重要である。

最後に、この分野の従来における問題点にふれたい。上述のように染色体異常の原因解明には発生初期での研究が重要であるが、その基礎となる染色体標本作製技術の開発は不十分であった。また、この種の研究には不適当な実験動物を用いたため、催奇性実験等の実験系に卵子のエイジングの影響が混入していることを疑わせるような例がしばしばみられた。そこで我々はこれらの基本的な問題の解決から始め、染色体標本作製技術の面では従来の方法よりはるかに信頼度・成功率の高い方法を新しく開発した。また、実験動物としてはチャイニーズハムスターを選び、本研究室で繁殖、育成して用いている。この動物は安定した性周期をもち、その染色体は数、形のうえから分析が容易である等、この分野の研究に最適の動物である。これらの新しい手法を用いて我々は染色体異常の原因解明に取り組んでいる。

(生物学 講師)

■第35回談話会 昭和53年2月15日開催■

慢性膵炎の病態

建部高明

19世紀の後半から肝の慢性間質炎や肝硬変に類似した膵病変の存在が知られていたが、このような膵の硬化性病変の概念が規定されたのは近年のことである。すなわち、1963年にMarseillesで開催された国際シンポジウムでは、慢性膵炎は間質結合織の増生を主体とする不規則な膵硬化であり、しかも成因を除去しても膵障害は回復せず、あるいはさらに進行する病態であると規定されている。しかし、その頃のわが国では慢性膵炎に対する考え方は必ずしも統一されておらず、とくに欧米とは異なり軽症型が多く、しかしその頻度は慢性胃炎や胆嚢症に匹敵するなど、どちらかといえば1952年にHeinsenが提唱した慢性膵症(chronische Pankreopathie)という考え方に同調する傾向がみられた。

そこで私はわが国における慢性膵炎の実態を把握するためには、この疾患の形態と機能についての知見を集積することがまず必要と考え、1963年以降症例の探索につとめたところ、次のような知見が得られた。(1)慢性膵炎の形態像のうちもっとも一般的な所見は不規則に分布する膵線維化であり、次いで膵管系の拡張、管腔内の塞栓(protein plug)の形成、膵管上皮の萎縮、消失、化生、腺房の萎縮と消失、間質のリンパ球浸潤、間質の浮腫や実質の出血壊死あるいは膵囊胞の随伴などである。

研究室紹介

■病理学第一講座■

佐藤利宏

雄大な大雪連峰を窓からちよいと見渡たせる5階フロアの隅を占めて、当講座が穩かに息づいています。では教室のことを少しく御紹介致しましょう。1) 住人達のこと：(下田教授)そこらの、ありあわせの材料をもとにして、何でも自分でこしらえる。市内の細工屋さんが「オレ習いにくるかな」といったとか。ただ教室になかなか居付かないのが玉にきず。(佐藤助教)机上をちらかす天才。他所へも浸潤性、転移性に進出。かたづけると怒る。整理して置いてあるのだと本人は宣ふのだが。(高橋助手)心温かき人。だが口の方はなかなか辛辣で実習時にゾットさせられた学生さんも多数。3年目の諸君御用心、ゴヨージン。(黒川助手)新進気鋭のバイタリティーを深く秘めて落着いた物腰。貫禄がにじみ出る。ある時來客が助教と間違えたのも無理もないこと。(宮越技官)専門職の組織標本作りに加えて事務、給仕業と大活躍。あまり忙しいのでよく廊下をバタバタと走る。第一病理は彼女でもっているとの巷の噂。安藤君：一期生。時たまふらりと現われて臨床の本を読む傍ら標本もよみ楽しんで。「よく飲んでくれと言われるが、それほどオチャケが出ない」とは彼の教室評。2) 仕事のこと、i) ネズミについて：かつて、教授(脳血管、脳浮腫の超微形態)助教(肝臓疾患)共に神経病理学の研究をしていたため、現在も中枢神経組織における単位膜内構造、gap、tight junction等の研究および末梢神経の節性脱髄の問題と取組み、細胞内小器官—電顕切片、病変の立体構築、単位膜内構造—下田式装置でのFreeze-fracture、酵素系の変動—組織化学、或は末梢神経線維を1本づつ分離するなど形態学の種々の方法論を駆使して、一同連日奮闘しながら一步又一步と追究している。ii) 病院生検材料について：附属病院から病気の診断、治療の目的で、検査部に多数の組織検査の依頼がある。現在は当教室がその任務を担当している関係上、毎日4時になると助教、助手はネズミの仕事を中止し、病院へ出向き、1~2時間を費して、材料を組織標本とするための準備をする。6時頃教授は副学長業務を放棄し、疲れきった眼をみひらき、生検材料診断のため顕微鏡に向う。助教以下は、時に飛入り客も混えて、組織診断にも造詣の深い教授の知識を略奪せんと、標本検討会を始める。困難な症例には教授も加わり、延々と討論が続く。———標本検討を終えると頭を再びネズミの事に切替えて、よなべ仕事を続けます。かくして教室の一日が過ぎ、凍てつく夜空をみあげながら一同帰途につきます。脳裡に悲しげなネズミの顔と、にこやかに退院してゆく病院患者の顔を重ねて描き、明日こそはより前進をとつぶやきながら。(78.1.31脱；監、佐藤)

(病理学第一講座 助教)

この結果、慢性膵炎の基本的な形態像に関しては、わが国と欧米との間には相違のないことが判明した。(2) 膵の形態像に診断根拠をおいた症例について各種膵機能を検討すると、慢性膵炎ではまず膵外分泌機能、なかでも膵管系の機能を反映するbicarbonate分泌の障害が先行し、次いで耐糖能が減退し、やがてはmalabsorption syndromeが出現する。

次に、臨床像を分析してみると、症例の大多数は腹痛をもって発症し、その後の経過においても腹痛は重要な愁訴であるが、約5%の症例は全く無痛性に経過し、これらの多くは糖尿病を初発症状とする。1946年にComfortらが慢性膵炎の本態と考えたchronic relapsing pancreatitis(腹痛発作を反復しながら経過するtype)とみなされるものは過半数を占め、とくに大酒家の症例の大部分はこれに該当する。腹痛に次いで多いのは体重減少であり、また一過性の黄疸の出現あるいは膵腫瘍形成はそれぞれほぼ15%に認められる。

自験例の約70%は膵管内に結石を形成する慢性石灰化膵炎(chronic calcifying pancreatitis)である。そこで膵石形成の機序を組織化学的に検討してみると、膵液酵素蛋白を主成分とするprotein plugはコラーゲンを含む層状構造物へと変化し、これらは脱落した膵管上皮を中心に集合し、これにカルシウムが沈着して膵石となるものと推測される。慢性石灰化膵炎の頻度は、わが国を含めてアルコール消費量の増加しつつある地域では、漸増しており、いまや慢性膵炎の主体となりつつある。

慢性膵炎には糖尿病がしばしば合併するが、この膵性糖尿病の特長は次のようである。(1) ブドウ糖やトルブタマイドなどの刺激に対するインスリン反応、またアルギニン刺激に対するグルカゴン反応はともに減退しており、したがって膵島の α または β 細胞の両者の機能障害が推測される。(2) このためか、インスリン低反応の割には耐糖能は比較的良好に保持されている。また、インスリン欠乏時にしばしばみられる高脂血症などの脂質代謝異常は出現し難い。(3) 外因性インスリンに対する感受性は増大し、インスリン投与後の低血糖が出現しやすく、血糖のコントロールは必ずしも容易でない。(4) ケトosisや糖尿病昏睡の出現は稀である。しかし、腎症や網膜症など血管合併症の頻度は、これまで考えられていた程稀ではない。

慢性膵炎の主な死因は糖尿病のコントロール不良やその合併症であり、したがって、この疾患の治療の要点の一つは、遅くとも糖尿病の合併する以前に診断し、膵病変の進行を可及的に阻止することにある。このためには慢性膵炎の成因や発生病理についての究明が必要であるが、この疾患は複数の素因の上アルアルコールなどの後天的な侵襲因子の加わることによって発生するという以上には、現在確固たる知見は得られていない。

(内科学第二講座 助教)

キトウシ山でスキー遠足

第1学年学生を対象とする、恒例のスキー遠足は、去る2月4日(土)、好天に恵まれたキトウシ国際スキー場で行われました。

参加者は午前10時に学生玄関前に集合し、2台のバスに分乗して目的地へ着きました。指導員及び学生課職員から諸注意を受けた後、班別練習、自由練習に入り、今冬初めてスキーにのった学生諸君も華麗なシュプールを描き、日頃の授業の成果を披露していました。(学生課)



第1回歩くスキー講習会

第1回歩くスキー講習会は、第1学年学生のうち希望者を対象として、去る12月7日(水)、12月10日(土)の両日、本学周辺を会場として行われました。

降雪不足のため12月3日(土)に予定されていた1回目講習が中止となりましたが、2回目、3回目は積雪、天候ともに恵まれ、参加者はバスカング滑走、推進滑走等の基本技術修得や市内のツーリングスキーコースの紹介を受け楽しく有益な一時を過しました。(学生課)

交通安全講習会

学生及び職員を対象とした交通安全講習会は、昨年11月30日(水)午後1時から、旭川警察署時田正交通課長を講師に迎えて第6講義室で開催されました。講習会では最近の事故を例にとり、交通5悪の追放及び冬季の道路状況に応じた安全運転が強調されました。これからは融雪によるハンドル操作ミスや夜間の路面凍結によるスリップ事故が懸念されます。学生諸君も安全運転を励行し、また万が一に備えて必ず任意自動車保険に加入しましょう。(学生課)

第4回全学スポーツ大会

第4回全学スポーツ大会は、去る1月23日(月)から2月2日(木)までサッカー、卓球、バドミントンの3種目にわたり開催されました。学生、教官、事務官の各チームが優勝をめざして健闘しましたが、結果は次のとおりです。サッカー 1位2B 2位4年選抜、卓球 1位事務A 2位教官 バドミントン 1位3A 2位事務A(学生課)

奨学制度について

本学には、日本育英会奨学制度のほかに都道府県等の奨学制度があります。この制度は、経済的な援助は勿論のこと、給貸与の資格、条件、金額等はそれぞれ異なっていますので、希望する学生は自分の資格、条件等に適したものに応募されるとよいでしょう。

募集等については、その都度公用掲示板に掲示します。

参考までに現在の各種奨学生数は次のとおりです。

(学生課)

各種奨学生数

(昭和53年3月1日現在)

名 称	貸与月額	奨 学 生 数					計
		第1学年	第2学年	第3学年	第4学年	第5学年	
日本育英会奨学資金	一般貸与 6,000 (11,000)	10	20	17	9	13	69
	特別貸与 自宅通学 8,000 (13,000)	3		2	2	1	8
	自宅外通学 12,000 (18,000)	15	13	12	13	17	70
計		28	33	31	24	31	147
北海道医学及び歯学修学資金	50,000	1	4	4	12	12	33
長野県医学士修学資金	40,000		1			2	3
東京都公衆衛生修学資金	30,000					1	1
川崎市公衆衛生修学資金	30,000			1			1
青森県地動産奨励修学資金	40,000					1	1
兵庫県地動産奨励修学資金	40,000				1		1
札幌公府税務局奨励修学資金	30,000					1	1
福井県医学修学資金	50,000		1				1
北海道庁農林部総合合医学修学資金	50,000			2	4	3	9
札幌市立総合学舎(英才教育事業部)	10,000					1	1
日本通運育英会奨学資金	10,000	1					1
財団法人旭川ロータリー育英奨学資金	6,000		1				1
財団法人大阪府育英会	5,000		1				1
南条育英会	10,000		1				1
財団法人交通通見育英会	20,000		1				1
財団法人杉村先生記念財団奨学資金	14,000		1				1
財団法人小川育英会	25,000					1	1
明治製菓育英基金奨学資金	15,000		1				1
網走支庁母子奨学資金	8,000					1	1
紋別市奨学資金	8,000					1	1
津別町奨学資金	10,000					1	1
知内町奨学資金	6,000				1		1
網走市奨学資金	8,000		1				1
旭川市奨学資金	10,000			1			1
深川市奨学資金	15,000			1			1
財団法人 登別育英会	8,000			1			1
計		2	13	10	18	25	68
合 計(延数による)		30	46	41	42	56	215
在 籍 学 生 数		107	101	103	93	87	491

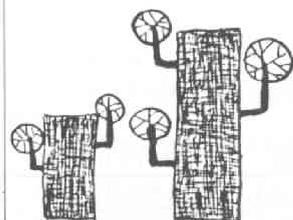
備考、日本育英会奨学資金貸与月額()内は、昭和51年度及び52年度入学生の貸与月額である。

短 信

❖ 課外活動用物品の返却 ❖

学生係では、学生諸君の課外活動用として大量の貸出物品を管理していますが、整備点検のため、3月13日(月)から4月22日(出)まで貸出しを停止します。個人、団体を問わず、学生係から物品貸与を受けている学生諸君は直ちに返却してください。返却が遅れて物品整理ができない場合は、物品貸与停止期間が延長されますので注意してください。(学生課)

サークル 紹介



サークル活動は、学生諸君が創造性を発揮し、自主的に心身を練磨し、情操を養う場であるとともに、先輩、友人や顧問教官との緊密な接触を通して、社会生活に必要な自律性、協調性を修得する場でもあります。

本学には現在、体育系31、文化系22の学生団体が設立され延812名の学生諸君が活躍しています。各サークルはフレッシュな貴方を待っています。新入生諸君も豊かな人間性の涵養のためサークルで活躍しませんか。(学生課)

ラグビーフットボール部

近頃のブームに乗じ、一昨年からラグビー部としての人員も確保でき、活動もできるようになり、勝つことに開眼した。ただ、今年は6年生の先輩方が臨床実習に忙しく、練習に参加できそうになく、一日も早く、先輩方の抜けた穴を埋めたいと思っている。そのためには、新入部員のFreshな力が是非とも必要であり、昨年よりも好成績を残したいと思っている。又、部員は皆愉快的な奴ばかりで、コンパなどでは、少々マンネリ気味のかくし芸も拝見できる。優秀(?)な先輩方から、種々の情報も手に入る。来たれラグビー部へ!



(責任者 清水重男)

部員	経 費	活 動
24	月額1000円 遠征費は会 負担以外を 自己負担	6.13～ 6.20旭川ラグビー協会会 長杯優勝 7.10～ 7.13全道大会ベスト4 進出 10.30～11. 7東医体ベスト8 進出

硬式テニス部

「旭川に第二の美智子妃を!!」を旗印に発足して5年を数える。昨年は待ちに待ったコートも完成し、ラケット片手に山から16kmも離れた下界のコートに行く不便もなくなった。テニスは、こちらから「ヤッホー」と呼びかけて送ったボールが、山彦とは異なり「アッホ!!」と変化して返ってくる場所に特徴があると思う。その変化に対処する為に、コートが使用可能な期間は、平日毎日練習しています。(時には、日曜日にも練習する奇人、怪人、変人(?)も出現する。)但し試験の嵐の際は、臨時休業も目立ちますが、その成果も実り、昨年は、王座リーグ2部優勝を逃したものの2位、個人では、道内学生トーナメントで、ちゃっかり準優勝した者はじめ、恥ずかしくない成績を取めました。現在、日焼した顔が約35ほど活動しています。その中にあなたの顔も加わって欲しいのです。顔に自信がなくてもかまいません。現に見るに耐えぬ顔ばかりなのだから。又、染色体46×Xであると自認する方、大歓迎です。とにかく、ガッツのある方の入部を切に希望しております。

追加：今春、雪残る旭川で雪ダルマ作って遊ぶのに満足しきれず、関東千葉県で合宿する予定です。

(責任者 森 善樹)

部員	経 費	活 動
33	月額 500円 遠征費、大 会参加料自 己負担	5.1～5.11春季トーナメント 5.14～5.28大学王座リーグ戦2部2位 7.31～8.1東医体 8.26～9.1新進戦 10.1～10.12秋季トーナメント

準硬式野球部

野球部は創設以来着実に実力をつけている。我が野球部は全員一丸となった毎日の練習を基礎に、一丸となって試合に臨むことを目標としている。「野球は試合に勝たねばだめだ」この精神は毎日のクラブ活動において常に念頭になければならない。「参加することに意義がある」これも一理あるが、実力あつての参加が貴いのであって、この言葉をまに受けると何度経験してもいやなコールド負けを喫する。「みじめ」の一言につきる。毎日の短い練習の積み重ね。同じ練習を何度もくり返す。一見すごく練習した気になる。「今度こそ勝つぞ」といきごんで試合に臨む。9回裏2アウトランナー1・2塁。全員2-0で勝った気である。平凡なセカンドゴロ。「やった」と次の瞬間ファーストへ投げた球が大きくそれでライトへ点々とする。ライトバックホーム。そのボールまたさらに大きくそれで三塁ベンチ内へ。このどきどきに3-2で負ける。「絶句」、「これが草野球だ。いやこれがドラマだ。」『野球はドラマだ』どっかのラジオでやっていたが、野球のおもしろさはここにある。野球はチーム

プレーである。悲喜こもごも全員の経験がさらにチームを成長させるのである。今年も去年以上の成績を目指してがんばります。御声援願います。

(責任者 稲葉雅史)

部員	経 費	活 動
22	月額1000円 遠征費年間 20,000円	5.31~6.2 全国大学準硬式野球道 予選 8位 7.9~7.12地区体 3位 7.31~8.4 東医体 4位

バレーボール部

誰でも一度は、クラス対抗バレーや円陣バスの経験があるでしょう。そしてもっと上手にバスができれば、華麗にスパイクが打てたらと思った人はいませんか。また、高校バレーから脱皮したい人。勝利の美酒を味わいたい人、女性にもてたい人? そんな人達は是非ともバレー部に入りましょう。そして我々と一緒に2年連続東医体優勝と金メダルをめざして練習しませんか。我がクラブは適度な厳しさと適度な冗談をもちあわせたクラブです。バレーが好きな人ならきっと気に入るクラブなのです。その一味違った雰囲気味わいに一度来てみて下さい。

(責任者 田崎卓見)



部員	経 費	活 動
14	月額 500円 遠征費、ユニホーム代 自己負担	5.3~5.5全道大学バレーボールリ ーグ春季2部及び入替戦優勝 7.1~7.3全道大学選手権 3位 8.3~8.6東医体優勝

空 手 道 部

入学おめでとう。我が部は結成以来5年目を迎え、今年中には有段者も10名前後になる予定で、片山主将以下、猪俣、大西尚師範、橋本、加藤両コーチらのもとで、日夜練習にはげんでいる。我が部にはその他、熊殺しの三木田副部長、必殺飛びげりの竹内先輩、恐怖の看板破りの明門先輩、空中稲妻突きの宮川先輩などユニークな部員が多い。入部者はどんな初心者でも3年以内に黒帯になれる。練習は昼休み50分、諸君も気楽に、やってみ

ないか。昼休み体育館の2階道場へ見に来たれ!! 初心者、大々歓迎!! 諸君の入部を期待して、押忍。

(文責 宮川広之)



部員	経 費	活 動
15	月額 400円 第1学年会 員のみ遠征 費無料	6.19第1回旭川空手道連盟大会個 人 2位 8.1東医体 11.12~11.13和道会全道大会個人5位 10.31昇段審査 2名初段

卓 球 部

我々卓球部は、旭川医大開校以来の長い伝統を持ち、昨年の北医体でのシングルス3位をはじめとして輝かしい実績を持つクラブである。さらにまた、練習では、適度にきびしく、初心者にはやさしく、多方面にわたる人間形成を目標としている。すなわち、春の花見にはじまる数多くの楽しい催し物を取りそろえ、at home な雰囲気の中に男と女のロマンスが芽ばえる、そんな、ウソのようなクラブである。最後に、今年の目標、東医体ベスト8、北医体1位。新入部員の若いエネルギーに乾杯!!

(責任者 外木秀文)



部員	経 費	活 動
15	年額1,000円 遠征費自己 負担	5月市会長杯争奪戦 3位 7月地区体Bブロック 4位 8月東医体Aブロック 7位 11月北医体 6位



弓道部

春……花粉の粒子の膨化の雨。陽光のひからびた枯れ草の、もう一度のチャンスは野ねずみを生きかえらせる。

春……地上の微生物たち（もちろん人間も含めて）は青い法衣をまとう。すべて同じ光が、同じ音を残して走りさってゆく。春だけが持ちうる特権は行使されねばならない。

ぼくたちは、どんな記憶を残しているのか？

花粉の雨と、その花粉を生みおとした“大樹”の根元。そこにくりひろげられている、日々のウラガワに。

弦音（つるね）というのがある。これは音ではない。光かもしれない。花粉の粒子をふるわせるから。ぼくらの記憶の底から、化石になった樹木を掘り起こす。感性をときすましてみれば見えるのかもしれない。春の持つ不可解さとそれをつつむ清澄な光を。だから、春は死んだ野ねずみを生きかえらせている。

矢的（まと）を射ぬくのではない。それは光だから、永遠に溶けこむのである。

弓道とは永遠との確かな呼吸であろうか？

（責任者 岡崎慎也）

部員	経費	活動
23	月額 500円 その他5,000円、遠征費40,000円	6.20全道選手権 7.10地区体 8.2~8.5東医体8位 10.22~10.23争覇戦優勝 11.7新人戦

剣道部

今年は、我剣道部の創設5周年であり、又本学にとつては6学年が満たされる年でもある。この目出度い年に本学に入学され、剣道部に入部される諸君は何と幸運なのでありましょう。この栄えある剣道部の紹介に際し、部員のプロフィールを述べることにする。「コンパで気前のよい我部の大スポンサー、顧問の原田教授」「老体に鞭打つ気力の剣道、元北大剣道部主将、監督の森教授」「酔えばホモ化の出る練習の鬼、錬士6段斉藤師範」「山椒は小粒でピリリと辛い、試合に負けない6年東」「医大のエンターティナー、華麗な待ち剣、6年相沢」「胴を切らせば医大一、6年大島」「勝率No.1、外面的ニヒルな6年後藤」「歌と踊りはNo.1、姿勢の正しい5年橋本」「猪突猛進、内に秘めなる女好き、5年道敷」「面打ちの速さは天下一品、女気零の4年野中」「度胸のみの剣、東京のプレイボーイ3年道仏」「春歌を歌えば医大一、綺麗な剣の3年仲谷」「笑うと崩れるクールな二枚目3年永瀬」「打たれ強さで有名な3年新川」「ビール速飲みクラブ、肉弾巨漢、2年山崎」「急性アルコール中毒も何のその、基本に正しい剣の2年百瀬」最後に「なかなか勝てない真面目一本の好青年、主将の5

年奥出」と、総勢17名の中所帯である。

（責任者 奥出芳博）

部員	経費	活動
17	年額3,000円 遠征費自己負担	北部北海道剣道大会優勝 東医体参加 道内3医学部定期戦3位

柔道部

医学生にとって必要な要素の中には、知力の他に体力があることを皆さんは知っているだろうか。頭だけで病気が治ると思ったら大きなまちがいだ。多くの患者さんを相手にし、日々新になる技術と知識を身につけ、医学の最先端を歩むには必ず体力の要ることを痛感する時があると私は思う。だから新1年生の諸君には必ず何か一つ運動クラブに入って、体を鍛えて欲しいと思う。幸いなことに本学には柔道部があり、経験豊かな先輩が君たちを立派な柔道家に育ててくれると思う。心あるものは参加されたい。柔道部の近況として特筆すべきは、新3回生の姉川と片山だろう。なんといっても初体験の柔道を1年で有段者の地位にかけのぼったのだから。君達も経験のあるなしにかかわらず入部し、鍛練して欲しい。顧問に生理学第二講座の助教青木藩先生、コーチに市内進藤病院の高畑氏を擁している。部長は新4回生大木康生（弐段）である。（責任者 大木康生）

部員	経費	活動
9	必要なつど徴収、遠征費自己負担	5.29北海道3医学部対抗柔道大会2位 7.10地区体16位 7.31東医体予選3位

サッカー部

我が部も、創立5年目を迎え、“球蹴り”の域を脱し、やっと“サッカー部”と言える域に達したと思われる。かつてはおせじにも強いと言えなかったのが、現在では“旭医強し”という感を全道各大学が持っていることは紛れも無い事実である。昨年のインカレでは、札大



との決勝一步手前で敗れはしたものの、全道3位という成績をあげ、今年は全道制覇も夢ではない。しかし我が部には、部員が少ないという大きな悩みがある。新入生諸君よ、君達にかける我が部の期待は大きい。この期待を裏切らないことを切に望んで、我が部の紹介とする。

(責任者 宮本守孝)

部員	経費	活動
13	月額500円 遠征費70,000円 円自己負担	5.7旭川グラウンド開き優勝 5.28~5.29北医体 7.9地区体 7.31東医体参加 10.15~10.16全道大学選手権3位

バスケットボール部



我がクラブは、健全な精神と肉体のもとに部員の団結を目標とする。練習日は週3日程度2時間で、初心者でも練習についていかれるよう練習内容を考慮している。

昨年は東医体でも3回戦まで進むなど、もっか実力は上昇中。部員も一人一人自主性を持ち練習にうちこんでいる。

したがって、これから入部をしようとする方は、自主性をもって練習に参加することを希望する。

(責任者 宮津 誠)

部員	経費	活動
13	年額10,000円、遠征費40,000円自己負担	5.13~5.14北医体7位 6.10~6.11社会人バスケット大会3位 8.2 ~8.6東医体3回戦進出 6.14~6.15地区体

スキー部

夕陽を見ながら涙がでる時、それは青春。青春で何だろう。生きるって何。それを波動砲の由来とともに知る事ができるのは、スキー部距離陣、ディスタンス。白い山野をただ走り抜くだけのレースは地味であり、孤独で



あり、観客も少ない。より華やかなアルペンやジャンプの魅力にひきつけられる。しかし、その孤独のロマンと、走った後の満足感が、新型波動砲の秘密を僕等に伝授する。僕等のユニフォームは、ナイロン・ポリエステル。

スキー部にシーズン・オフはない。夏はひたすら走りまくり、冬は雪にまみれる。実力は問わない。来たれ。スキー部へ。(文責 長野洋司・末松典明)

部員	経費	活動
25	月額 300円 遠征費50,000円 円他に合宿用具費負担	市民大会 神居山大回転

ボディビルディング

ボディビルは地味なスポーツです。合理的な練習と根気が必要です。しかし、毎日、馬鹿みたいに練習を積めば、一般大学の選手と対等に競うことも可能です。

我々は現在、パワーリフティング2種目に力をいれた練習をしています。全員、入学してから初めてバーベルを握った人ばかりですが、連日の猛練習により、部員の水準は向上しつつあります。

とにかく「続ける」つもりで入部して下さい。練習は水曜日曜午後及び毎日昼休み。場所は体育館2階。

(責任者 佐藤守彦)



(写真 は 福田選手が110kgを挙上した瞬間)

部員	経費	活動
10	月額 500円 連盟費年間 6,000円遠征 費自己負担	10.23全道学生パワーリフティング大会軽中量級6位 11.6全道学生パワーリフティング新人戦 軽中量級3位 中量級5位

ゴルフ部

我がゴルフ部の特色としてまず挙げられるのは部員個人個人が自分に合った方法でゴルフというスポーツに取り組んでいる点である。練習場としては名門の大雪山カントリークラブの使用が許されていて非常にめがまれている。費用も月1,000円程度で他のスポーツに比較してもそう高くないはずである。部員のほとんどが大学に入っ

てから始めた者で、初心者の方にはとっつきやすいと思われま。上達を希望する方には斎藤孝成先生というすばらしい顧問も居られるので期待にそえると思。とにかくたくさんの入部を待っています。

(責任者 八木原一英)



部員	経 費	活 動
21	月額10,000円 合宿費10,000円 円交通費負担	5月・6月北海道学連月例会団体5位 7月北海道学連繁富杯個人10位 10月北海道学連月例会 北海道学連新人戦5位

軟式テニス愛好会

軟式庭球愛好会は去年テニスコートの完成と共に誕生した新しいクラブです。その活動は、テニス日和の昼下がり数人が集まってゲームを楽しむといった程度です。従って大会などにはまだ参加していません。試合で勝つことより、みんなで楽しみ、そして健康増進をはかろうというのが去年の目標でした。ですから各人自由に暇な時間を見つけて練習していました。軟庭はテニスシューズさえ買えば、ラケットは学生課から借りられるので、ほとんど費用がかかりません。

暖かい日光を浴びてコートを走り回るのはとても気持ちのよいものです。また少し練習すればすぐ仲間とゲームを楽しめるようになります。もちろん経験者や大会で勝つことを目的とする人も大歓迎です。是非部員一同にも御指導願いたい。また医大には、看護婦、職員、教官からなる軟庭愛好会もあり、今年はそのとの親睦も深めていきたいと思っています。

(責任者 竹居田和之)

部員	経 費	活 動
12	年額 500円	

大東流合気武道クラブ

大東流合気道武とは、800年前の清和天皇の末孫である新羅三郎義光を始祖とし、大東の館で修練されたことにちなみ大東流と称され、代々甲斐武田家に伝承された秘術です。この合気道を受け継いでいる方が、網走に住んでおられる第26代宗家の武田時宗先生です。昨年は、この先生に旭医大に来ていただき直接御指導していただきました。合気道とは元来、総合武道であり剣、棒術合気柔術などをまとめて言った言葉です。私たちのクラブでは、その中で合気柔術を練習しています。この合気柔術は、男女の別を問わずに練習できる所が他の武道と異なっています。現に、毎年8月に網走で演武大会が開かれますが、その中には多数の熱心な女子が見うけられます。

合気道について少し説明してみました。どうですか？この合気道を体得し、少なくとも自分の身は自分自身で守れるぐらいになろうじゃないですか。私たちのクラブではヘタでもやる気のある人を希望します。以上。

(責任者 星川義人)

部員	経 費	活 動
3	月額 300円 遠征費20,000円 自己負担	

落 語 研 究 会

熊さん：おい与太郎！おまえ落研って知ってるかい。

与太郎：うん、知ってるよ。落第研究会だろう。

熊：おいおい、ばかなことを言うんじゃない。あの天才集団をつかまえて落第はないだろう。落研というのはな、落語を研究し、また自らも演じてみようという会なんだ。

与：なんだ、そうだったのか。でもどうして落語なんかするのかな？

熊：そうだな。落語には、日本に古来から伝わる人の心っていうもんがあるんだよ。日本を支えた庶民の生活を知ることができるんだな。

与：そうか。じゃ落語っていうのは、おもしろいだけじゃないんだな。

熊：ああそうだ。医者が一番大切な、人の心をつかむ技術を身につけるのに役立つかもしれないな。どうだ 与太郎もやってみないか。

与：おいらもやりたくなかったな。旭医大には他にめばしいクラブもないし、一つ落研で大学生活を楽しんでみようか。

というわけで お待ちしております!!

(責任者 石橋隆治)

部員	経 費	活 動
8	無 料	4月新歓寄席 6月学祭ヒポクラ亭 8月白菊会アトラクション

天 文 ク ラ ブ

夜道を歩いていて、ふと見上げた星空に暫し足を止めて眺めるということはあると思う。星空は美しいものだが、星についていくらかでも知っている、その興味のわき方もいっそう深いものになってくる。暦をもたない古代の人々が星で時刻をはかり、季節を知り、そして星々をいろいろな神話に語ってまとめたことを思い起すとき、彼らの想像力の豊かさとロマンチックな生活の様子が手に取るように感じられてくる。(多少誇張済み)とにかく星を見ながら思いをめぐらしてみるのが楽しいものです。

我々のところには現在、多少壊れたものも含め3台の望遠鏡があり、付属品も増えつつあって観測する状態としてはだいぶ整ってきています。あとはいかに多く利用するかということです。星に関心のある人はどうか遠慮なくクラブの門を叩いて下さい。歓迎します。

(責任者 王藤伸一)

部員	経 費	活 動
15	必要なつど徴収	

「棧敷」文 の 会

僕達は、君達と話しがしたい。沈黙できないのは、僕達すべてが日撃者だからだ。とにかく、君達は返答しなければならない。

“棧敷”の連中は、とにかく話をするのが大好きだ。じっと坐っていることができない。毎月1度の例会では、好きな作家の作品を取り上げて、現代における状況の中で自分の位置を見誤らないための方法論を戦わす。なんて事は、いわば前哨戦で、本戦は、2次会になって、酒を酌み交わして始まることになる。前哨戦、本戦どちらでも結構だから、君達の参加を待っている。

(責任者 伊東隆雄)

部員	経 費	活 動
21	年額 1,200円	5.13例会、梅崎春生「幻花」 6.8例会、リルケ「マルテの手記」 9.22例会、大江健三郎「芽むしり仔撃ち」 10.25例会、中上健次「蛇淫」他

映画 研 究 会

昨年の春、呱呱の声をあげた我が映研も、早や、満一才の春を迎える。設立当初、数人で発足した部員数も20余名になり、外郭団体である“旭川名画鑑賞会”の会員数も募集開始半年にして320名を数えるに至った。

その間、合評会、学内上映会、講演会、旭川名画鑑賞会など幅広い活動を展開してきたわけだが、就中、旭川名画鑑賞会は今では北海道最大の映画団体となって市民の中にしっかりと根をおろし、町の映画愛好家はもとより映画関係者の間でも注目される存在にも育ったのである。が、ここまでの道は決して平坦なものではなく、30万強の市の人口、大学の数の少なさ、各学校の映研の不活発な活動状況、など数えられないほどの悪条件のもとで、悪戦苦闘の末やっとたどりついたのである。

が、基礎はでき、機は熟した。我々の最終目標である“旭川シネマテーク”も決して遠くはない。

今年、我が映研はいくつかの新機軸、新企画をうちだす。それは、映画製作への試みであり、大規模な講演会の開催を予定している。

是非とも若いエネルギーを必要とすべく、新入生の入部を熱烈に歓迎する。(責任者 片山道弘)

部員	経 費	活 動
20	年額 300円 他に上映会の赤字負担	6.26名画鑑賞会「道」 9.29名画鑑賞会「カサブランカ」 10.29名画鑑賞会「第三の男」 11.5名画鑑賞会「灰とダイヤモンド」 12.7名画鑑賞会「青春の蹊径」

ドイツ語研究会

わが独語研究会は、発足1年足らずではありますが、五条教会のドイツ人神父さん、ローター・ポレンバ氏を会話の先生として、週1度の例会を通じ、クラブ員一同ドイツ語会話上達のために励んでおります。先生の温厚な性格のために、クラブ員は楽しい雰囲気に参加しています。メンバーは、独語で本大学を受験したと云う噂のA氏、独力で原文を読んでいるB氏、本大学で初めてドイツ語に触れて、その素晴らしさに魅了されたC君、あるいは、ただつきあいで加入しているD君など多彩な人員です。本年度からは、態勢を整え、1年生に対しても独語学習のアドバイスをを行い、早く独語に親んでもらう予定です。又、上級学年の人の加入も歓迎します。

）ドイツ語一口メモ（

Studieren Sie fleißig Deutsch !

(一生懸命独語を勉強しなさいネ！)

(責任者 辻 和之)

部員	経 費	活 動
6	月額 200円	毎週1回、5条教会においてドイツ人神父を中心としてドイツ語会話の練習

将 棋 部

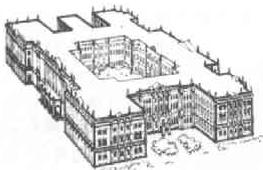
昼休みになると、ロビーに大きな人溜まりがいつもできる。そして、パチリッ・パチリッと小気味よい駒音が響き、その度に大きな歓声が湧く。「おい、そいつァ王手飛車だ。ポケッ。」「いや、詰んでいるんだ。」「投了だ。投了だ。」……………たいてい、将棋を指している御本人よりも、まわりのオカメ八目が手を進めてしまう。こんな楽しい雰囲気が、当大学将棋部にはある。

将棋部員以外にも、いわば準部員として盤使用料をわずかばかり払い、汗を流した後に一局という御方も随分と多い。我が大学において、今や将棋ブームと云ってよいだろう。さて、部員のお手並は、と言うとこれはもう、全道大会4位の実績で、おわかりでしょう。と大見栄を張っても、部員の平均水準はそれ程高いわけではありません。去年の第2期旭医名人位は、1年生が獲得しました。(出場者30名位)部費は、月100円と安く、試

合も、学内名人戦の他に、北大・札医との対抗戦、そして全道大学将棋選手権と、数多くあり、実戦を通して強くなるのが、可能です。昨今の将棋ブーム、若く新鮮な感覚を持つ君と、繊細な読みを持つ貴女、将棋の好きな方でしたら、どなたでも、入部を歓迎します。

(責任者 大島英二)

部員	経 費	活 動
25	月額 100円 他に臨時徴収年間 1,000円	旭医北大対抗戦 旭医札医対抗戦 秋期全道大学将棋選手権4位



Ermitage Museum (Leningrad City)

森 茂 美

窓 外

■レニングラード■

「クラスナヤストレーバ、赤い矢」と呼ばれる特急寝台列車でモスクワ市を離れ、約8時間後プーシキン、ゴーゴリ、ドフトエフスキーの町と言われるレニングラード市に到着する。ロシア帝政史上最大の名君ピョートル一世は、この地をフィンランド湾に通ずるロシアの窓と考え、17世紀の初めこの地に要塞都市を建設した。そしてピョートル大帝の名をとり聖ペテルブルグと名付けた。その後一時期この町はペトログラードと改名されたが、レーニンの死後レニングラードと呼ばれるようになった。

眠い眼をこすりながら駅を出ると、ロシア革命の発端が芽ばえたと信じられないネフスキー大通りが、古いヨーロッパ都市の片鱗をのぞかせている。市内にはイタリアのベニスに劣らぬネヴァ川の運河が流れ、それにかかる数百の橋一つ一つに歴史の流れが刻まれている。そして運河には彫刻のほどこされた石造建築がその影をうつしている。レニングラード市に足を踏み入れたとき、この地が白夜と運河と典雅な石の都であり、誇り高きロシアインテリゲンチヤの城と言われる所以が理解される。

ピョートル大帝はこの町の建設に着手したとき、オラ

ンダ、ドイツ、イタリア各国から数多くの建築技師を招いたという。レニングラードは、ソビエト最北端のモスクワにつぐ大都市であるが、ヨーロッパ文化の強烈な影響がいたるところで見受けられ、この地がソビエトであることを忘れさせる。ロシアの女帝エカチェリーナは、西欧諸国と親交を結び、エルミタージュ国立美術博物館の200万点にもおよぶ膨大な美術品のコレクションをはじめた。またフィンランド湾を望むピョートル宮殿は、ベルサイユ宮殿を模して造られたとも言われる。

一方レニングラードの郊外には条件反射で有名な Pavlov の名の研究所がある。正門から研究所にいたる道路の両側には、Pavlov 博士生存中そのままの姿で犬舎が並んでいる。Pavlov 博士の名を知らなくとも、条件反射という言葉は今や世界中の日常語となっている。第二次世界大戦後、ソビエトの神経生理学は、世界の水準に比べて一時期停滞していた。その理由の一つとして、Pavlov 博士ではなく彼の高弟が条件反射で説明できない研究業績のほとんどすべてを排斥したことがあげられている。

しかしながら現在ソビエトでは、Pavlov博士の解析手法に匹敵する新しい解析手法が別な角度から開発され、新しい流れの研究が始められている。その研究者グループの一人に「なぜそのような解析手法が生まれてきたのか」尋ねてみた。その答は「Pavlov は Sechenov, Lewes という偉大な先覚者に恵まれ、我々の前には Pavlov がいたからである」であった。

その答は、研究に際しての思考の継承および発展過程を素朴なまでに示していた。モスクワへと再び「赤い矢」で帰途の私に、レニングラード市は歴史と研究の二方面から西歐的な思考過程を教えてくれた。

(生理学第二講座 教授)

窓外カットはErmitage Museum (Leningrad City)